

ガス給湯暖房機

エックスプリオール・オート
PRIORO AUTO

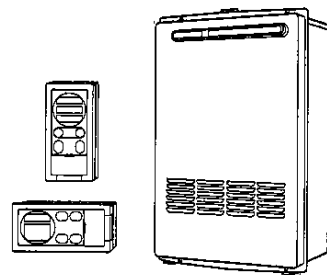
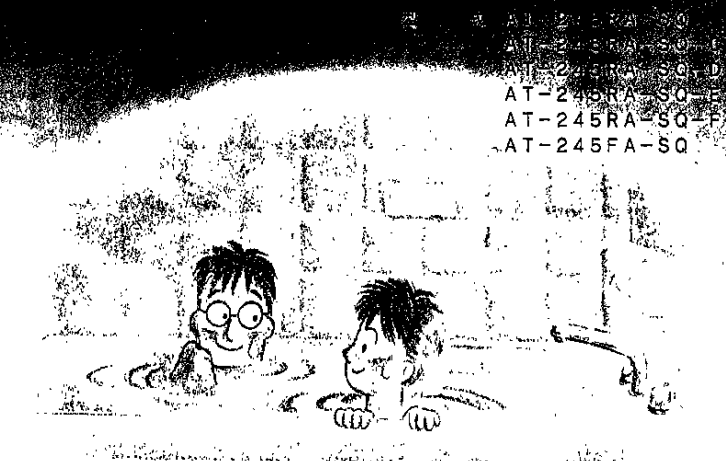
44-440/441/442/443/440-R 型

取扱説明書 保証書 44-444 型

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪	06(686)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺	0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町3-9-8	電話 高槻	0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内	0729(82)1131
兵庫支社	〒550	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸	078(380)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺薬田町1番地	電話 京都	075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良	0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	電話 和歌山	0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	電話 姫路	0792(85)2221
豊岡支社	〒658	豊岡市三坂町6-5-7	電話 豊岡	0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-3-4	電話 草津	0775(82)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町1-2-1-1	電話 彦根	0749(22)3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南兵衛町3-4	電話 長浜	0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

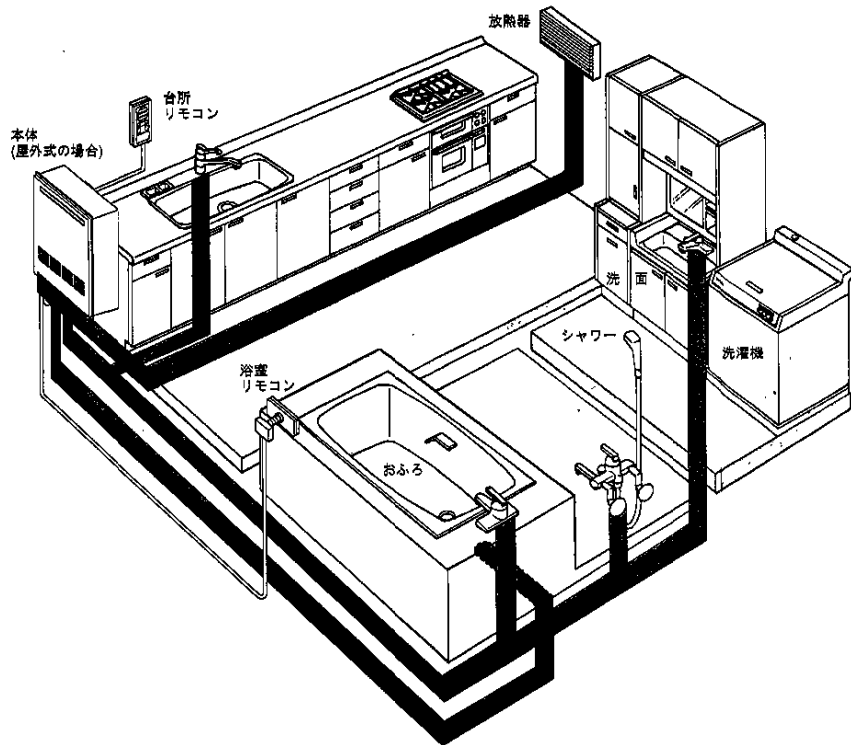


このたびは、大阪ガスの給湯暖房システム「エックスプリオール・オート」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

給湯・ふろ・暖房が同時に使える 独立運転!

- 適温・適量のお湯はりが完了すると自動消火するふろ自動運転。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房。
- 暖房水が少なくなると自動で補給する自動給水機能付。
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします。



もくじ

必ずご確認ください

- 安全上のご注意…………… 4

必ず
ご確認ください

使いかた

- 入浴健康メモ……………11
- 早見表……………12
- 初めてお使いになるとき……………14
- お湯の出しかた……………16
- お湯はり/洗かし直しのかた……………18
- お湯はり予約のかた……………20
- おふろの湯かげん調節……………22
- 暖房のかた……………23
- 日常の点検とお手入れ……………24

すぐ
使いたとき

必要なときにお読みください

- 故障かな?…………… 26
- 凍結予防について……………30
- 仕様……………33
- 各部のなまえ……………35
- アフターサービスについて……………38

もし
必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店へ連絡する

ガス栓を閉める



お買い上げの販売店または
ガス会社に連絡する

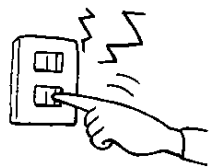


そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



火気禁止



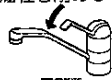
引火し、爆発・火災の原因となります。

警告

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う



給湯栓を閉める



リモコンのスイッチを「切」にする



給水元栓・ガス栓を閉める

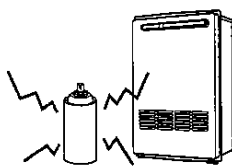


お買い上げの販売店または
ガス会社に連絡する



そのままにしておくと火災の原因となります。

■スプレー缶を熱源機の前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、リモコンのスイッチを「切」にする



リモコンのスイッチを「切」にする

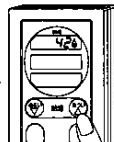
〈台所リモコン〉 〈浴室リモコン〉



〔旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう(※31ページ参照)〕

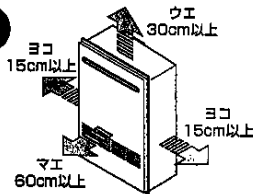
ガス漏れが生じた場合、火災や熱源機故障の原因となります。

■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



高温に設定されると熱湯によるやけどの原因となります。

■燃えやすいものは離す



上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

必ず
ご確認ください

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する

(例) 44-440の場合

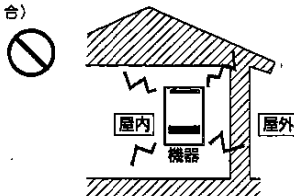
ガス給湯暖房機



製造年月 (例) 00年×月製
を示します。

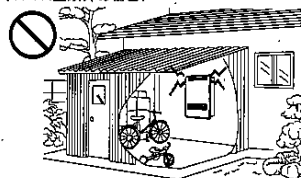
他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

■屋内に設置しない (44-444型以外の場合)



十分な給気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

■増改築などにより屋内状態にしない (波板などにより囲いをしない) (44-444型以外の場合)



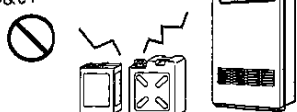
十分な給気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する



正常に熱源機が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない



火災の原因となります。

■入浴時、シャワー使用時はまず手で湯温を確認する

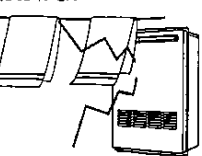


やけど注意



やけどの原因となります。

■給排気口をおおわない



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

⚠ 注意

■給湯・お湯はり・給湯暖房用として使用する



他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

■使用中や消火直後は、排気口付近に触れない

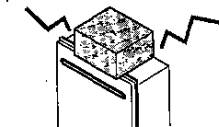


接触禁止



やけどの原因となります。

■熱源機の上に乗ったり、物を乗せたりしない



やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

■電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実にこなう (電源プラグがある場合)



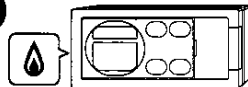
コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。

■電源プラグはぬれた手で触らない (電源プラグがある場合)



感電の原因となります。

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示の点灯・消灯を確認する



熱源機の異常を早期に発見できなくなります。

■アース接続されていることを確認する



アース接続



漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

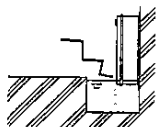
必ず
ご確認ください

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

■排水の不良などで熱源機が冠水するよ
うな状態では使用しない

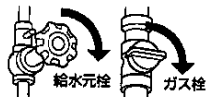


火災や異常燃焼による熱源機故障の原因とな
ります。販売店にご相談ください。

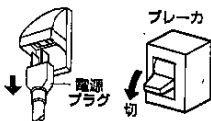
■点検・お手入れは給水元栓とガス栓を
閉め電源プラグを抜いて熱源機が冷
えてから行なう



給水元栓・ガス栓を閉める



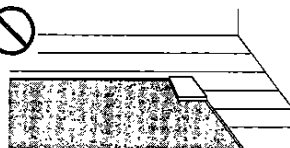
電源プラグを抜くまたは
ブレーカを「切」にする



熱源機が冷えてから行なう
(24・25ページ参照)

やけどや熱源機故障の原因となります。

■床暖房の上に電気カーベットを引か
ない



床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

■カーベット式床暖房に鋭利なものを落
したり、刺したりしない



温水パイプが破損し、温水が噴き出します。

■パネルヒーターの表面は触らない
(パネルヒーター使用の場合)



やけどの原因となります。

■床暖房の上で高い温度に設定したまま
長時間すわったり、寝そべったりしな
い



低温やけどの原因となります。

お願い

■熱源機内に長時間たまった水は
飲まない、調理に使わない



健康を損なう恐れがあります。

■混合水栓を使用の場合、ときどき水
だけを流す

給水側の水が長い間流れないと、一瞬にご
った湯(赤水など)が出る場合があります。

■混合水栓を使用の場合、出口が絞ら
れていないもの(瞬間湯沸器用混合
水栓)を選ぶ

熱源機作動不良の原因となります。

■硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤、
洗剤はそれらの注意書きをよく読ん
で熱源機に影響のないものを使用す
る

健浴剤・洗剤などによっては、熱源機故障
の原因となるものがあります。

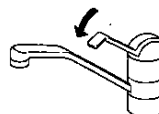
■熱源機、リモコンの改造はしない

火災や熱源機故障の原因となります。

■使用後はリモコンのスイッチを「切」
にする

凍結し給湯管が破裂した場合や、子供が
いたずらしたときお湯が出続ける場合があ
ります。

■停電のときは、給湯栓を閉める



燃焼が停止し、水になります。

■夏期などぬるめのお湯がでないとき
は湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度よ
り高くなる場合があります。

■台所リモコンは直射日光、水しぶき、
蒸気のかからない場所で使用、設置
する

水しぶきなどがかかると台所リモコン故障
の原因となります。

■ソーラー機器(太陽熱温水)との接
続はできません

熱源機故障の原因となります。

■燃焼中、電源プラグを抜いたり、ブ
レーカを「切」にして消火しない

熱源機故障の原因となります。

■水圧の低い地域では泡沫水栓を使用
しない

熱源機作動不良の原因となります。

必ず
ご確認ください

入浴健康メモ

安全上のご注意 必ずお守りください

お願い

■雷時は電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする



雷が落ちた場合熱源機故障の原因となります。

■断水の場合は、給湯栓を閉め、リモコンのスイッチを「切」にする
給湯栓を閉める



リモコンのスイッチを「切」にする

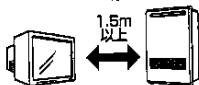
そのままにしておくと熱源機故障の原因となります。

■浴そう内の循環口はタオルなどでふさがない



やけどや熱源機故障の原因となります。

■テレビやラジオとは離す



上記の距離を保たないと雑音の原因となります。

■この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しない

熱源機故障の原因となります。

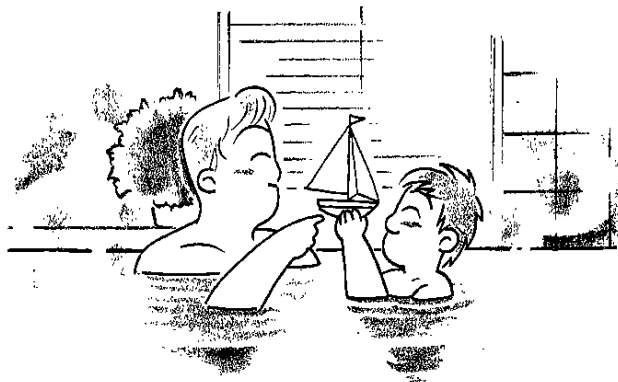
体の疲れをとる入浴のしかた！

●43～44℃のお湯に入る。

疲労の原因は体内に疲労物質（乳酸）がたまるため。そこで43～44℃の高めの温度だと、血行がグンとよくなるので乳酸が早く体外に出てゆきます。

●つかる時間は10分前後で。

熱い湯に10分つかると、血液中の乳酸濃度が低くなり、お風呂から出て1時間ほどで疲労以前のレベルに戻ります。10分がきつい人は、短い時間で何回か入るとよいでしょう。



すぐ
使いたいとき

ストレスをとる入浴のしかた！

●39～41℃のぬるいお湯に入る。

ぬるめのお湯は、緊張の原因、交感神経の活動をしずめ、リラックスを与えてくれる副交感神経の活動を優位にしてくれます。

●つかる時間は15～20分ほどで。

ぬるいお湯は、体への効果がゆっくりなため、長い入浴時間が必要です。ゆっくりつかっていると心臓への負担も少なく、血圧が下がってイライラが解消されてゆきます。

早見表

※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合と説明しています。

台所リモコン



※浴室リモコンでもお湯を出せます。

お湯を出す

スイッチひとつの簡単操作。
湯温の設定も手軽にできます。
(P16参照)

1 給湯スイッチを押す

点灯 給湯

優先表示確認

2 給湯温度を設定する

給湯

点火

3 給湯栓を開ける

消火

4 給湯栓を閉める

浴室リモコン



※台所リモコンでもお湯はりできます。

お湯をはる

お好みの湯温・湯量をお湯はりできます。
(P18参照)

1 ふろ自動スイッチを押す

点灯 ふろ自動

2 お湯はり湯量を設定する

湯量

点火

3 ふろ温度を設定する

ふろ

消火

お湯はり完了
(ブザーでお知らせ)

ふろ自動

4時間、保温を続けます。

浴室リモコン



お湯を熱く

お湯がぬるくなったときに使用します。
(P22参照)

1 追いだきスイッチを押す

点灯 追いだき

点火

2 ふろ温度を設定する

ふろ

設定温度+2℃になると

消火

追いだき完了

消灯 追いだき

台所リモコン



お湯はり予約

タイマーをセットしておくとお湯はり予約時刻にお湯はり完了。帰宅後もすくにお風呂に入れます。
(P20参照)

1 現在時刻を合わせる

①時刻スイッチを押す
②「時」「分」スイッチで時刻を合わせる
③時刻スイッチを再度押す (P15)

2 予約時刻を合わせる

①予約スイッチを押す
②「時」「分」スイッチで時刻を合わせる
③予約スイッチを再度押す (P21)

3 予約運転スイッチを押す

予約運転

点火

セットした時刻に近づくとき…
予約時刻にお湯はり完了するように、運転を開始します。

消火

お湯はり完了
(ブザーでお知らせ)

消灯 予約

運転

1 放熱器の運転スイッチを入れる

「入」

停止

4 放熱器の運転スイッチを切る

「切」

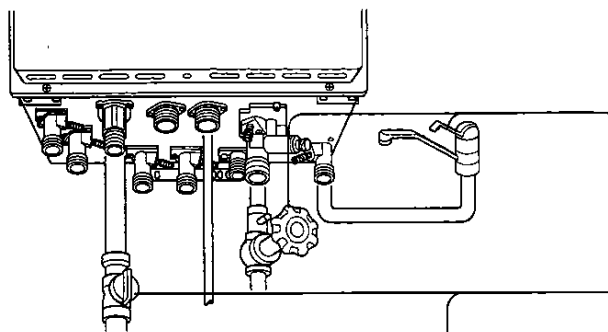
暖房する

お部屋の温度に応じた温水利用で快適暖房ができます。
(P23参照)

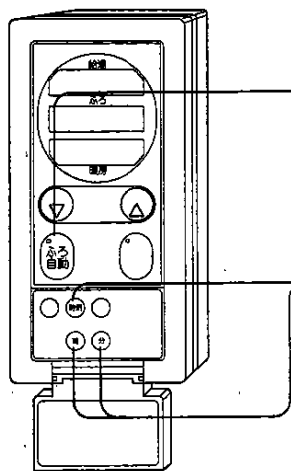
すぐ使いたいとき

初めてお使いになるとき

本体



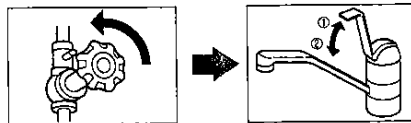
台所リモコン



室内の分電盤(ブレーカ)

※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合で説明しています。

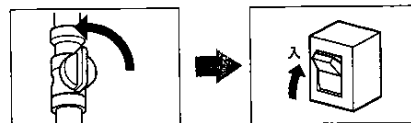
1 ■ 水の出ることを確かめる



給水元栓
給湯栓を開ける

①開けて水を出し、
②閉める。

2 ■ ガスの開栓と通電を確かめる



ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
またはブレーカを「入」
にする

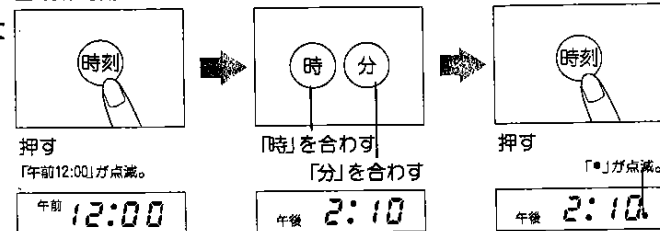
3 ■ おふろの湯が出ることを確かめる



「お風呂自動」スイッチ
を押す

①浴そうに湯の出ることを確かめ、
②再度「お風呂自動」を押し、
湯を止める。

4 ■ 現在時刻を合わせる



押す
「午前12:00」が点滅。

午前 12:00

「時」を合わせ
「分」を合わせ

午後 2:10

例、午後2時10分に合わせ。

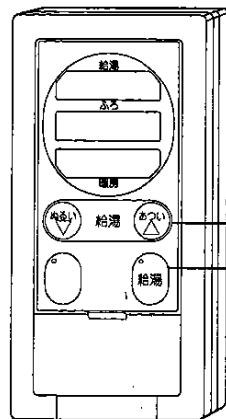
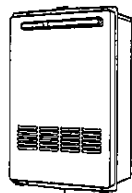
押す
「●」が点滅。

午後 2:10

すぐ
使いたいとき

お湯の出しかた (台所・洗面所・シャワー)

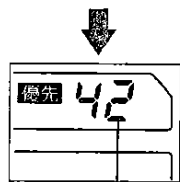
※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合で説明しています。



台所リモコン



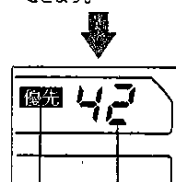
押す
●ランプ点灯。



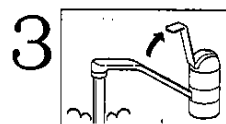
前回の給湯温度




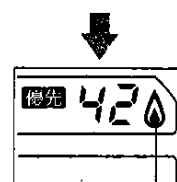
温度を設定する
●お湯の温度は約38~47℃の間と約80℃で設定できます。



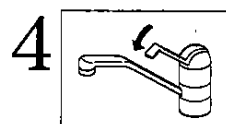
優先表示 給湯温度表示




給湯栓を開ける
●「」が点灯。



給湯燃焼表示



給湯栓を閉める
●「」が消灯。

■ 2回目以降は
⇒前回と同じ温度の湯が出ます。



●お湯はり中、給湯すると⇒お湯はりと同じ温度のお湯がでます。

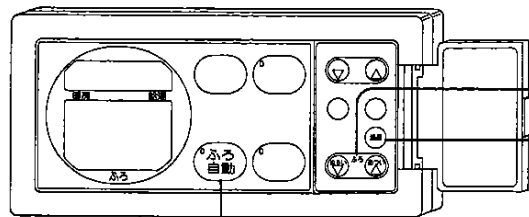
優先について

優先表示の出ている方のリモコンのみ、給湯温度を設定できます。

- 優先表示が消えているときは⇒浴室リモコンの優先スイッチを押す。
- 優先スイッチは⇒押すごとに優先表示が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

すぐ
使いたいとき

お湯はり／沸かし直しのしかた



浴室リモコン

準備：①おふろの排水栓を閉じ、
②浴そこのふたをしておいてください。

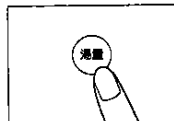
1



押す

- ランプ点灯。
- お湯はりが終わると自動的に消火し、プザーでお知らせします。

2



湯量を設定する

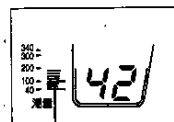
- 湯量は約40 L～340 Lの間で、約20 Lごとに設定することができます。

3

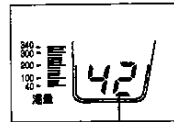


温度を設定する

- 約35℃～50℃の間で設定できます。



湯量表示



ふろ温度表示

■ 浴そこの残り湯が循環口より…

- 下にある場合は、新たに設定量のお湯はりをします。
- 上にある場合は、約60 L (リットル) お湯はりします。(あふれる場合がありますので湯量にご注意ください。)

■ 途中で消火するとき、止めるとき

- 再度押す。(ランプと が消灯。)

■ お湯はりが終わると

- その後4時間保温を続けます。

■ 台所リモコンでもお湯はりできます

- 台所リモコンの を押す。(浴室リモコンに表示の湯量、温度になります。)



- 湯かけ調節は→22ページを参照してください。
- お湯はり中は→リモコンの優先表示は消えています。
- ふろ自動スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にすると→新たに設定量の湯がお湯はりされます。湯量にご注意ください。

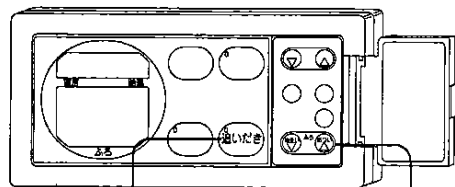


- 給湯とお湯はり、同時使用の場合
- お湯はりは待機します。
- 給湯の温度は、お湯はりの温度と同じになります。
- 保温中は
- 湯温検知を10分毎にポンプで循環して行ないます。

すぐ
使いたいとき

おふろの湯かげん調節

おふろのお湯を熱くしたいとき



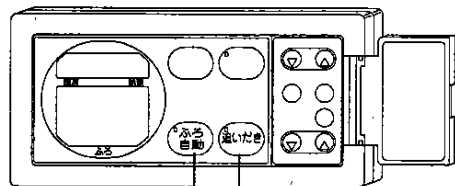
浴そうの循環口より10cm以上水が入っていることを確認する。(少ない場合、湯(水)を足す)
10cm以上
循環口

1 押す (ランプ点灯)
→設定温度より約2℃高くなると自動的に消火します。

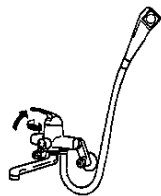
■途中で消火したいとき
→もう一度押す。

2 温度を変更したいとき
温度を設定する

おふろのお湯をぬるくしたいとき



1 ランプ消灯を確認する



2 浴そうの給水栓を開け水でぬるくする

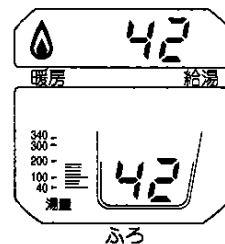
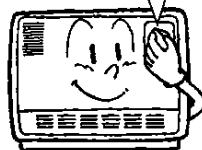
暖房のしかた

●放熱器の操作は、それぞれの説明書に従ってください。

1 放熱器の
運転スイッチを入れる

●リモコンの「」が点灯。

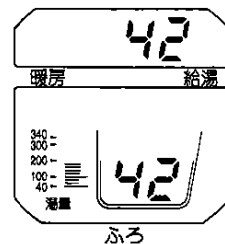
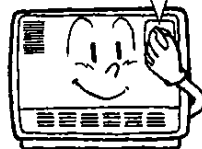
運転スイッチ
「運転」
「強」「弱」



2 放熱器の
運転スイッチを切る

●リモコンの「」が消灯。

運転スイッチ
「切」



すぐ
使いたいとき

日常の点検とお手入れ

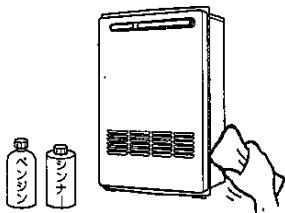
△ 注意

「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を閉め、電源プラグを抜いて機器が冷えてから行なってください。次の要領で定期的に行なってください。

お手入れの方法

本体

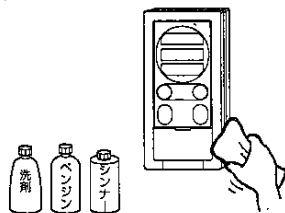
布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる



（お願い）
ベンジン・シンナーなどは使用しない。

リモコン

水をつけた布をかたく絞り軽くふきとる



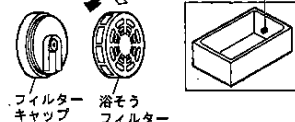
（お願い）
ベンジン・シンナー・洗剤などは使用しない。

浴そうフィルター

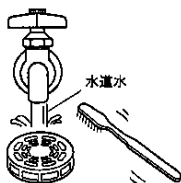
ゴミや湯あかなどをそのままにしておく目詰まりを解消し、熱源機の異常の原因となります。

1 浴そうフィルターをはずす

まわしてはずす。 浴そうフィルター

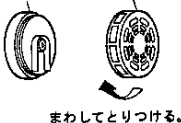


2 歯ブラシなどで洗う



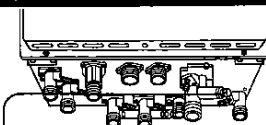
3 もとのように取り付ける

フィルターキャップ 浴そうフィルター

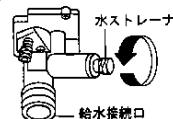


まわしてとりつける。

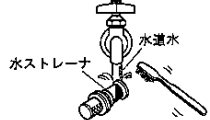
給水側水ストレーナ



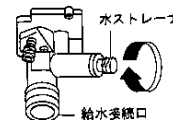
1 給水接続口にある水ストレーナをはずす



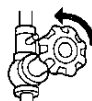
2 歯ブラシなどで洗う



3 もとのように取り付ける

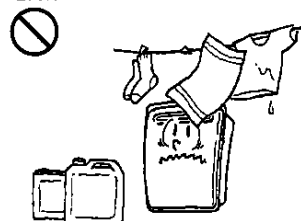


4 給水元栓を開ける



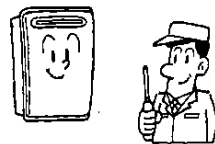
点検の方法

- 熱源機の異常音は？
- 外観に異常は見られませんか？
- 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？



定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまつたりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあり、ときどきご使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。



すぐ
使いたいとき

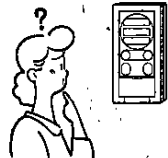
故障かな！？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

症状

ご確認ください

運転(燃烧)しない



- ブレーカが「入」になっていますか。
電源プラグがしっかり差し込まれていますか。
- ガス栓が全開になっていますか。
- 給水元栓が全開になっていますか。
- 新水していませんか。
- 凍結していませんか。(⇒32ページ)
- 停電していませんか。
- ガス配管に空気が残っていませんか。
⇒点火操作をくり返す。
- 水ストレーナが詰まっていますか。(⇒25ページ)
- マイコンメーターが点滅していませんか。(マイコンメーターをお使いの場合)

お湯があつくならない

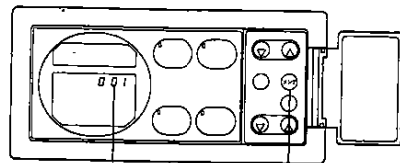
- ガス栓が全開になっていますか。
- 湯と水の量の調節は適切ですか。

低温の湯が出ない

- 給水元栓が全開になっていますか。
- 水ストレーナが詰まっていますか。(⇒25ページ)

リモコンの優先表示が点灯しない

- 浴室内リモコンの優先スイッチを押し、優先表示の点灯を確認する。(⇒17ページ)



エラーコード表示

メンテスイッチ

エラーコードについて
不具合が生じたとき、その原因を
エラーコードでお知らせします。



下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。それでも同じ表示が出る場合、電源を切らないで、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯性を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したため。	追いだしスイッチまたはふろ自動スイッチを押しなおしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯性を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたため。	
113	暖房側およびふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、追いだしスイッチ(またはふろ自動スイッチ)を押しなおしてください。(暖房の放熱器を使用している場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。)
723	暖房側およびふろ側の回路に異常がおきたため。	
412	お湯はり中に断水したため。	再通水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
632	追いだし時浴そうの循環口より約10cm以上水が、入っていないためです。	浴そうの循環口より約10cm以上水または湯を入れ、追いだしスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。
	お湯はり時、おふろの浴そうの栓をしていないためです。	ふろ自動スイッチを「切」にし、排水栓をしっかりと閉め、再度「入」にしてください。
上記以外の表示が出る場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再操作してください。		

もし
必要なとき

故障かな！？

● 次のような場合は故障ではありません。

現象	理由
寒い日に排気口から湯気がでる	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
長時間、給湯を使っていると火が消える	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯栓を急に閉めるとゴツンと音がすることがある	水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。
お湯はり中に浴そうの循環口から空気が出て、「ポコポコ」と音がする	お湯はり中のお湯の流れにより空気を吸い込んでいるためです。
暖房運転中「  」がつかいたり消えたりする	お部屋の温度に応じて「  」がつかいたり消えたりします。
冬期、暖房を使っていないのに熱源機が燃焼する	暖房回路凍結予防のため、一定温度以下に外気温が下がれば熱源機が自動的に燃焼します。

異常時には安全装置が働きます

- 給湯バーナーの炎が消えた場合..... 給湯立消え安全装置
- 暖房(ふろ)バーナーの炎が消えた場合..... 暖房立消え安全装置
- 暖房回路の水が万一極端に減った場合..... 空だき防止装置(暖房)
- 空だきした場合..... 空だき安全装置(給湯・暖房)
- 熱源機の温度が異常に上昇した場合..... 過熱防止装置
- 電気回路に漏電が生じた場合..... 漏電安全装置
- 過電流が流れた場合..... 電流ヒューズ
- 熱源機内の水圧が異常に上昇した場合..... 過圧防止安全装置

上記の安全装置が働いた場合

リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を開き、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ連絡してください。

	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止しますが、水は出続けます。 ● 給湯栓を閉じてください。 ● リモコンの各スイッチを「切」にしてください。 ● 再通電後 ● 使いかた(☞18ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止します。 ● 給湯栓を閉じてください。 ● リモコンの各スイッチを「切」にしてください。 ● 再通水後 ● 使いかた(☞18ページ)によりご使用ください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止しますが、水は出続けます。 ● 給湯栓を閉じてください。 ● リモコンの各スイッチを「切」にしてください。 ● 供給再開後 ● 使いかた(☞18ページ)によりご使用ください。
ふろ お湯はり	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止します。 ● 再通電後 ● 使いかた(☞18ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止します。 ● ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 ● エラーコード412が点滅します。 ● その場合は、再通水後18ページに従ってください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止します。 ● ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 ● 供給再開後 ● 使いかた(☞18ページ)によりご使用ください。
ふろ 追いだし	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止します。 ● 再通電後 ● 使いかた(☞22ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常は、正常運転します。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止します。 ● 追いだしスイッチを「切」にしてください。 ● 供給再開後 ● 使いかた(☞22ページ)によりご使用ください。
暖房	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止します。 ● すべての放熱器などの運転スイッチを「切」にしてください。 ● 再通電後 ● 使いかた(☞23ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常は、正常運転します。 ● エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は、お近くのガス会社へ連絡してください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は、停止します。 ● すべての放熱器などの運転スイッチを「切」にしてください。 ● 供給再開後 ● 使いかた(☞23ページ)によりご使用ください。

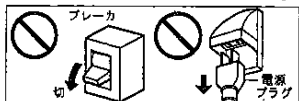
もし
必要なとき

凍結予防について

通常は自動保温します

給湯・ふろ側

- 運転中、停止中に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。



ブレーカは絶対に切らないでください。電源プラグは絶対に抜かないでください。

浴そうの水を排水してください。

※配管・バルブの凍結予防はできません。

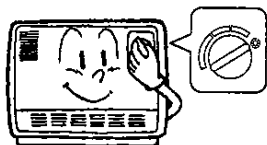
暖房側

- 外気温が0℃近くになると自動的に凍結予防運転します。
(外気温などの条件によって変わりますが、1~2時間に1回約5分間程度燃焼します。)

不凍液は

- ガス会社指定のものをご使用ください。
- 適正濃度を保つため1年に1度、点検が必要です。ご相談はご購入の販売店または、担当メンテ会社もしくはガス会社までご連絡ください。

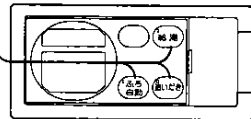
- すべての放熱器などの運転スイッチを「☀」にする。



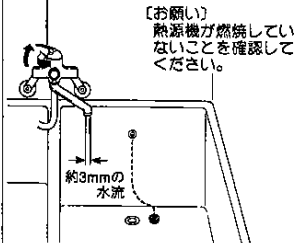
給湯栓から水を出す
(冷え込みが厳しいとき)

給湯・ふろ側

- 1 リモコンの各スイッチを切る



- 2 給湯栓を開け、水を出しつづける



暖房側

- 左記と同じです。

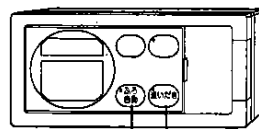
水抜きをする
(長期不在のとき)

給湯・ふろ側

※配管・バルブの凍結予防はできません。



- 1 ガス栓を閉める
- 2 給水元栓を閉める
- 3 水抜き栓を開ける(4カ所)



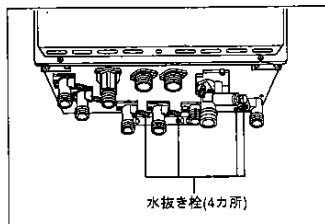
- 4 浴そうの水を排水する
- 5 給湯栓を開ける
- 6 シャワーを床面まで下げる
- 7 約30秒後 追いだしスイッチを「入」にする
(浴そうの循環口より水が出ることを確認)
- 8 約30秒後 追いだしスイッチを「切」にする
- 9 電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする

暖房側 P30と同じです。

もし
必要とき

凍結予防について

水抜き後の再使用のとき



1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は14ページの「初めてお使いになるとき」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

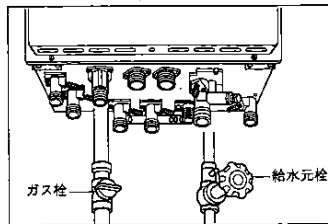
3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込む または、ブレーカを「入」にする

6 ふる自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふる自動スイッチを押し、湯を止める。

凍結して水が出ないとき



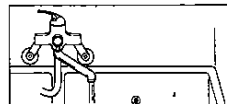
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 リモコンの各スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する



- 凍結したまま使わないでください。
- 凍結による修理は有料です。

仕様

機種名		ガス給湯暖房機	
機	式	AT-246RA-SQ、-C、-D、-E、-F	AT-246FA-SQ
品	番	44-440, 441, 442, 443, 440-R	44-444
種	給湯方式	先止め式	
	暖房方式	温水循環方式	
設	給排気方式	屋外強制排気方式	強制給排気方式
	方式	屋外設置方式	屋内設置方式
着火方式	給湯・暖房	タイルト着火	
外形寸法 (mm)	本体	高さ760×幅460×奥行200	高さ750×幅460×奥行200
	台所リモコン	高さ106×幅96×奥行21	
	浴室リモコン	高さ96×幅106×奥行20	
質量 (kg)	本体	37	40
	台所リモコン	0.3	
	浴室リモコン	0.3	
水圧 (kPa)	使用水圧	98.1 (1 kgf/cm ²) 以上	
	作動水圧	14.7 (0.15 kgf/cm ²)	
最低作動水量	湯	2.5 L/分	
	暖房	0 L/分以上(掃切り使用可)	
ポンプ	心	41.2 kPa (4.2 mH ₂ O) (5.0 L/分のとき)	
	外排気	49.0 kPa (5.0 mH ₂ O) (5.0 L/分のとき)	
遠操度	給湯	電子式ガス比例制御方式	
	暖房	電子式ガス比例制御およびOFF制御方式	
速度調節 (°C)	台所リモコン給湯	約38 ~ 約47 (1℃階層) 約80	
	浴室心	約35 ~ 約50 (1℃階層)	
	リモコン給湯・シャワー	約35 ~ 約47 (1℃階層) 約60	
給湯量制御方式	暖房	約80 (自動変温システム) 約60 ~ 約70 ~ 約95	
	心	水量比例制御方式	
排気ファン	給湯	40 L~340 L(20 L階層)	
	暖房	負荷による比例制御	
制御方式	暖房	負荷による比例制御	
	暖房時	負荷による比例制御	
安全装置	給湯立消え安全装置、暖房立消え安全装置、空燃比防止装置		
	空燃比安全装置、過熱防止装置、電流ヒューズ、過圧防止安全装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、凍結予防ヒータ、水量センサー、誘導管保護装置、漏電安全装置		
消費電力	最大276 W		
	凍結予防運転動作時：最大260 W		
接続	ガス	20Aオネジ(R1/2)	
	給水・給湯	15Aソルダー継手付属(R1/2)	
	暖房(温水)	20Aオネジ(G1/2)	
	心(追いだし)	15Aオネジ(R1/2)	
	オーバフロー	15Aオネジ(R1/2)	
	電気	本体電源 AC100 V 60Hz 3心(うち1心アース用)	
付属品	浴室リモコン(一式)、台所リモコン(一式)		
	品番	AT-245RA-SQ	AT-246FA-SQ
接続	給排気接続口	給排気口φ80、排気口φ80 最大延長7m 3曲り	

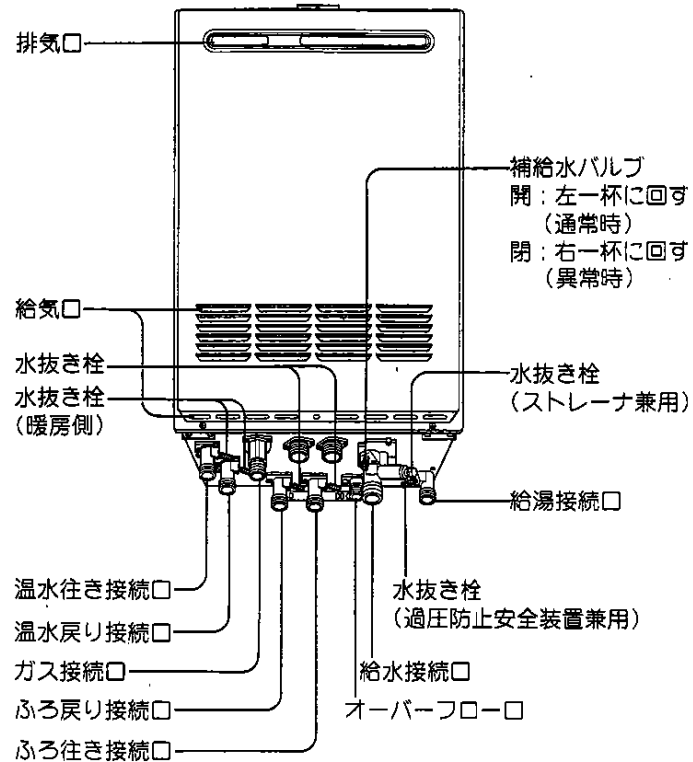
仕様

使用ガス 使用ガス グループ	1時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)				標準出力 kW(kcal/h)		
	全ガス 消費量	給湯ガス消費量		暖房 ガス消費量	能力最大時		
		最大	最小		給湯	追いだし	暖房
都市ガス用 13A	45.2 (38 800)	35.0 (30 100)	7.21 (6 200)	14.0 (12 000)	27.9 (24 000) [18号]	7.67 (6 600)	11.2 (9 600)
LPガス用							

		都市ガス用13A	LPガス用
出湯能力(L/min) (能力大)	水温+25℃上昇		[16.0]
[水圧: 98.1 kPa (1 kgf/cm ²): 時]	水温+40℃上昇		10.0

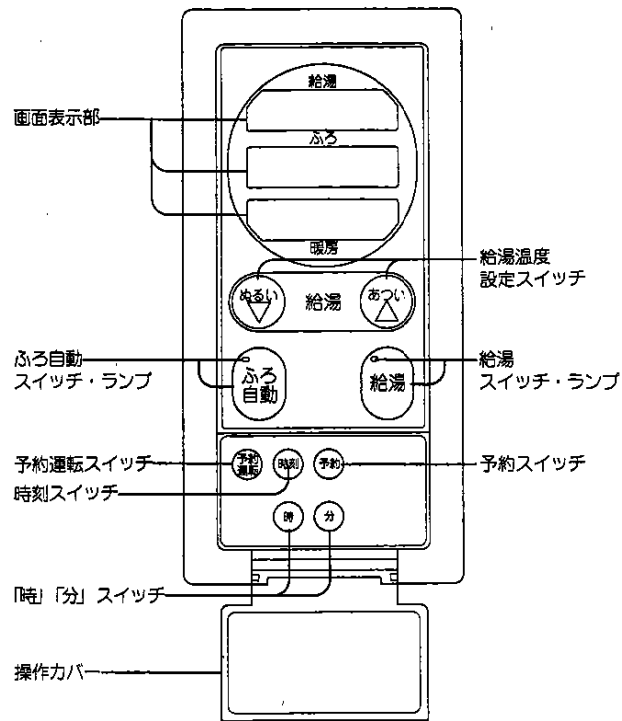
● 給湯能力の〔 〕内は、水温+25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

各部のなまえ 本体

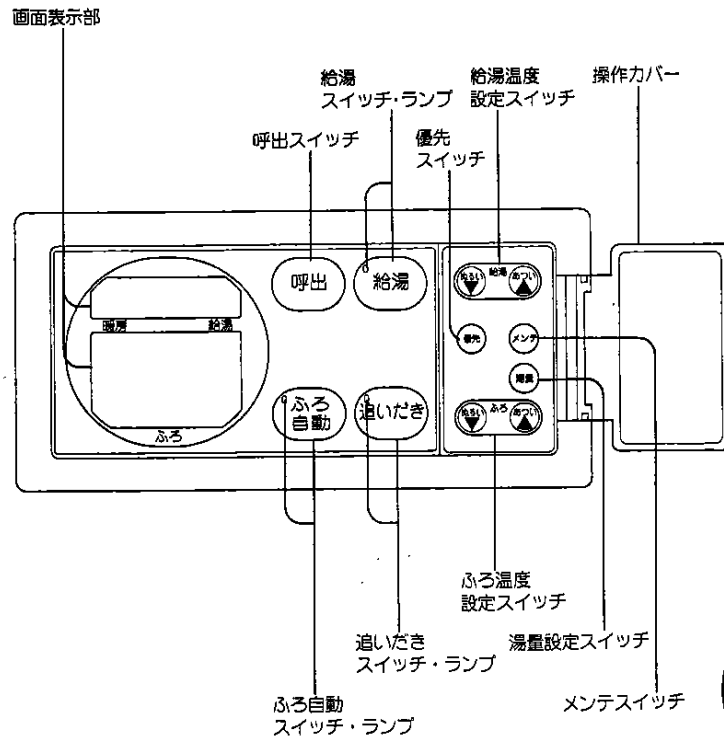


もし
必要なとき

各部のなまえ 台所リモコン



浴室リモコン

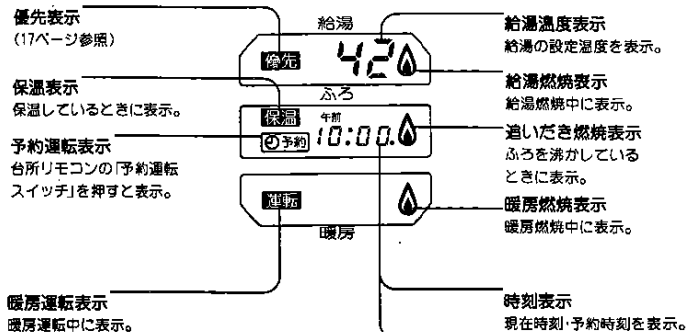


もし
必要なとき

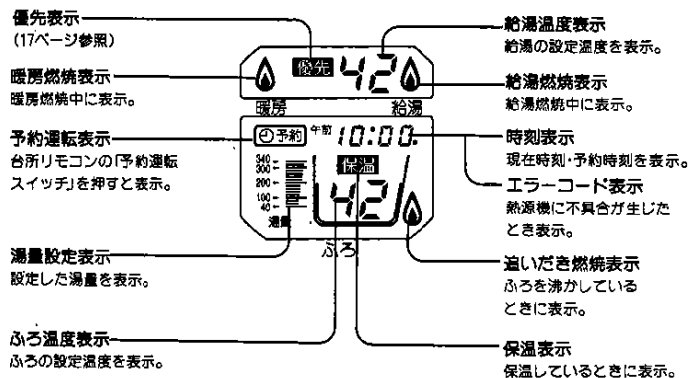
各部のなまえ 画面表示部

- 「給湯温度」「ふろ温度」の数値は目安温度です。
- 下記画面表示は説明のため全部表示したものです。

台所リモコン



浴室リモコン



アフターサービスについて

アフターサービスのお申し込み

- 28～29ページの「故障かな？」の項を見てもう一度確認ください。
 - 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店または、大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは次のことをお知らせください。
- (1)品 名……………ガス給湯暖房機
エックス プリオール・オート
- (2)品 番……………正面右下部に貼付してあります。
- (3)現 象……………エラーコードなど(できるだけ詳しく)
- (4)お客様名・住所・電話番号・道順
- (44-440の場合)
- | |
|----------------|
| (N) 44-440 (U) |
| 大阪ガス株式会社 |
| 744 440 01 |
| (AT-245RA-SQ) |

転居される場合

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類・電気の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・修理について

- 保証期間中は…
保証書に記載のように、熱源機の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年です。

もし
必要なとき